

上大和橋 かみやまとばし ● Kamiyamoto-bashi
〈東横堀川〉

上大和橋の下流で東横堀川は終わり、直角に西に曲がって道頓堀川へと続く。元和元(1615)年に道頓堀川が開削されるまでは、川はここまでしかなかった。そのためこの場所を堀止めとか堀詰と呼んでいた。

この頃はこの辺りに橋の必要性が少なく、九之助橋より下流には橋が見当たらなかった。上大和橋もいつ頃に架けられたのかは不明だが、東横堀川西岸道路の延長上に橋が架けられたと考えられる。現在のように上大和橋と下大和橋の位置が定まったのは、元禄後期と思われる。

上大和橋は明治以降も長らく木橋で、明治30(1897)年頃に架け換えられたときも依然木橋のままだった。近代橋になったのは、大正14(1925)年に第一次都市計画事業に基づき、三径間単純鋼桁橋が架けられたとき。

現在の橋は、戦後、阪神高速道路ランプが造られた時に少し改造されたものである。

